

平成15年度東北海区海況予報 第5号

平成16年2月13日

独立行政法人水産総合研究センター 北海道区水産研究所

東北区水産研究所

<<今後の見通し(2004年2~4月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並~やや南偏(35°30'N~36°30'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並に推移する。
- (3)釧路南東沖の暖水塊は持続する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、平年並(38°30'N以北)で推移する。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°E付近)で推移する。

《海況の経過(2003年10月~2003年12月)の特徴》

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並~やや南偏で推移した。
- (2)昨年8月以降、三陸沖に暖水塊が停滞している。
- (3)親潮第1分枝の南限は、10~11月は平年並~やや南偏(41°N~40°N)であったが、12月には平年並~やや北偏(41°N~42°N)であった。
- (4)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、10月~11月にかけてやや強勢(143°E~143°20'E)であったが12月には平年並となった。
- (5)表面水温は、三陸~北海道沿岸では平年より高めで、三陸~常磐沿岸では平年より低めで推移した。

《現況(2004年1月中旬~2月上旬)の特徴》

- (1)近海の黒潮の北限位置は、やや南偏傾向(35°40'N)である。
- (2)暖水域が、常磐沖(37°N、144°E付近および37°N、145°E以東)にある。
- (3)三陸沖にあった暖水塊が南下し、常磐域沿岸側に暖水域が形成された。
- (4)暖水塊が、釧路南東沖約400kmにある。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏(39°30'N)傾向にある。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°E付近)である。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以東を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による